

砂新田春日神社本殿（砂新田一四〇）

本殿は江戸彫彫刻で飾られた小型の一間社流造で、屋根はこけらぶきを模した板ぶきです。覆屋の板床上に据えられています。本殿は、屋根の構造などから、屋内に据えることを前提に設計されたようです。また、彫刻も細かく手の込んだ物で、全体的に工芸品を思わせる作りになっています。

壁面の彫刻は、左側面が竜と琴を弾く婦人、右側面は虎とおきなど童子で、背面にはありません。彫刻はかなりの厚みがあつて、立体感があります。右側面、脇障子よりの足もとには「東都彫工嶋村俊正（花押）」の刻銘があります。



本殿右側面の彫刻

嶋村俊正は、「留五郎」と名のり、保十二年（一八四一）に箭弓神社（東松山市）の奉納額に名を残しています。また、「嶋村俊元八代」と称することもありました。氷川神社本殿（宮下町二丁目）、稻荷神社本殿（木野目）を手がけた嶋村俊表も、「嶋村俊元八代」と名のっています。俊表と俊正は、一説に兄弟ともいわれていますが、明らかではありません。ただ、俊正も嶋村流の工匠であることはまちがいないでしょう。



砂新田春日神社本殿

作風は、ひさしの竜、側面の松の枝ぶり、波頭などを見ると鋭くかつ繊細で、触ると折れてしまうのではないかと思わせるほどです。造営年代を直接示す史料はありませんが、十九世紀中期と考えられます。

TV わが街川越 番組ガイド

川越の伝統産業を守る人々

数多くの文化財が、今なお残っている川越。さらに、伝統的な産業を活性化することで観光客増加を目指した取り組みが始まりました。一月に行われた催しの様子と、今後行われる事業について紹介します。



昨年11月12日・13日に行われた第2回職人展

テレビ埼玉（38ch）

2月4日(土)／午前9時30分～9時40分

2月5日(日)／午後5時30分～5時40分

川越ケーブルテレビ（15ch）

2月4日(土)～17日(金)

午前9時20分～・午後0時45分～・午後4時20分～・午後5時45分～・

午後8時45分～（金～日曜日）・午後10時50分～（月～木曜日）

テコケーブルテレビ（9ch）

2月20日(月)～26日(日)

午前6時30分～・午後0時30分～・午後4時30分～・午後7時30分～・午後9時30分～

*変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

どんぐり

編集後記

ことしの箱根駅伝、首位を快走していた選手が急に失速し、脱水症状を起こすという場面がありました。ふらふらになりながらも、次の走者にたすきを渡すために懸命に走ろうとする選手。その様子を、涙声で伝えるアナウンサー。つないでいく、たすきの重さを実感した出来事でした▶この広報川越は、市民の皆さんと市をつなぐパイプ。ことしもさまざまな情報を市民の皆さんにお知らせしていきます。そして、いろいろな場面で皆さんとお会いすることがあるかと思います。これからも、どうぞよろしくお願ひします▶蓮馨寺の除夜の鐘で取材初めをし、9日の成人の日には第57回川越市成人式の取材に出かけました。久しぶりの再会を喜び、楽しいひとときを過ごす新成人の皆さんの姿を見て、懐かしい気持ちになりました▶私の成人式は大雪でした。あれから8年がたち、今ではいい思い出になっています。